

# 週 報

2016年18号(5月1日～5月7日)

2016年度宣教テーマ

「世のために」

ヨハネによる福音書3章16節～17節

< 巻頭言 >

## 『 ゆるしに向かって 』

マタイによる福音書26章14節～29節

「主の晩餐」は、キリスト教会において、非常に大切な出来事として受け止められ、覚えられてきました。しかし、その意味をどのように受け止めているのでしょうか。

「主の晩餐」をどのように理解し行かかについては、教会によって様々です。幼い頃に私が所属していた教会では、クリスチャンの信仰告白として、「主の晩餐」が執り行われていました。まだクリスチャンでなかった私は、パンとぶどうジュースを飲んでいる姿を見て、羨ましく思っていました。しかし、本日のみ言葉を聴いていくとき、「主の晩餐」の場面が、いかに緊張感に包まれていたか、弟子達にとって、差し出されたパンとぶどう酒が、どれほど重いものであったかを考えさせられるのです。

イエス様は、「過越の食事」を整えるとき、「わたしの時が近づいた」と言われました。「わたしの時」とは十字架に引き渡される時のことを指しています。それを手引きしたのは、他の誰でもない、弟子のユダでした。残りの弟子たちも、十字架に引き渡される場面で、皆、イエス様を見捨てて逃げてしまうのです。

何と罪深い弟子たちでしょう。しかし、イエス様は、彼らの罪を責めるのではなく、「罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約(神と民を結ぶ)の血である」と言ってぶどう酒を差し出すのです。

弟子達にとって、パンとぶどう酒は、さぞ重いものだったでしょう。主の晩餐を行う度に、彼らは、自分たちがイエス様を裏切ったことを思い出したはずですが、彼らは、それを受け取ることで、罪人であることを再認識すると同時に、赦しに生きなさいというイエス様の招きにあずかっていったのです。

(村田悦牧師)



教会創立 1950年8月7日 (教会組織)

日本バプテスト連盟 大分キリスト教会

〒870-0045 大分市城崎町2丁目6番22号

Tel/097-532-4240 Fax/097-529-5240 牧師 村田 悦

[http://blogs.yahoo.co.jp/oita\\_baptist\\_church](http://blogs.yahoo.co.jp/oita_baptist_church)

Mail:oitabap@violin.

ocn.ne.jp